

# 平成29年第3回富山県教育委員会議事日程

3月10日（金）午後2時00分

教育委員会室

## 1 会議録の承認について

平成29年2月13日開催の平成29年第2回富山県教育委員会会議録の承認について

## 2 議決事項

議案第6号 平成29年度富山県教育委員会重点施策に関する件

議案第7号 富山県指定有形文化財の指定の件

## 3 報告事項

(1) 臨時代理について（平成29年2月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件）

(2) 土曜学習モデル事業について

(3) 平成29年度富山県立学校入学者選抜の志願状況及び受検状況等について

(4) 上市高等学校における平成29年度県立高等学校全日制の課程入学者選抜学力検査英語聞き取りテストの中止について

## 4 その他

今後の教育委員会等の日程について

## 5 議決事項

議案第8号 富山県銃砲刀剣類登録審査委員の任命の件

議案第9号 教育職員の人事異動に関する件



議案第6号

平成29年度富山県教育委員会重点施策に関する件

平成29年度富山県教育委員会重点施策を別添のとおりとする。

平成29年3月10日 提 出

富山県教育委員会

教育長 渋谷 克 人

議案 第7号

富山県指定有形文化財の指定の件

富山県文化財保護条例（昭和38年富山県条例第11号）第4条の3の規定により次の文化財を富山県指定有形文化財に指定するものとする。

平成29年3月10日 提 出

富山県教育委員会  
教育長 渋谷 克人

種 別	名 称	所有者	所在地
考古資料	直坂 I 遺跡出土品（富山市舟新・舟倉） －ナイフ形石器3点、彫刻刀形石器2点、錐形石器1点、接合資料1点－	富山県	富山市茶屋町206-3 （富山県埋蔵文化財センター）
考古資料	ウワダイラ I 遺跡出土品（南砺市上原） －ナイフ形石器9点、局部磨製石斧1点、石核4点－	富山県	富山市茶屋町206-3 （富山県埋蔵文化財センター）
考古資料	立美遺跡出土品（南砺市立野新） －尖頭器3点、搔器3点、削器2点、錐形石器1点－	富山県	富山市茶屋町206-3 （富山県埋蔵文化財センター）

# 富山県指定有形文化財（考古資料）指定調書

種 別	有形文化財（考古資料）
名 称	<p>すぐさかいちいせきしゅつどひん とやましふなしん ふなくら 直坂 I 遺跡出土品（富山市舟新・舟倉）</p> <p>—ナイフ形石器<sup>がたせっき</sup>3点、彫刻刀形石器<sup>ちやうこくとうがたせっき</sup>2点、錐形石器<sup>きりがたせっき</sup>1点、接合資料<sup>せつごうしりょう</sup>1点—</p>
所有者	富山県
所在地	富山市茶屋町 206-3（富山県埋蔵文化財センター）
数 量	7点
指定理由	<p>①昭和 47 年に実施された発掘調査は、県内で最初の旧石器時代遺跡の発掘調査事例として学史上重要</p> <p>②豊富な接合資料は、後期旧石器時代前半期の石刃技法による石器製作技術を復元するうえで学術上重要</p> <p>③本県の旧石器時代研究の基礎となった代表資料</p>
概 要	<p>遺跡は、神通川が飛騨山中から富山平野に抜け出る、標高約 170m の上位段丘上に位置する。昭和 47 年に県が実施した調査で、旧石器時代及び縄文時代草創期・早期・中期にわたる各時期の遺物及び遺構が発見され、昭和 56 年に国の史跡に指定されている。</p> <p>旧石器時代では、調理場の遺構と考えられている被熱した礫群が検出され、主に流紋岩質凝灰岩製のナイフ形石器、彫刻刀形石器、錐形石器、剥片、石核など約 1,200 点の石器が出土した。この石器群は、石刃剥離技術が単設打面技法であること、ナイフ形石器に石刃の形状をあまり変えず打面を残したまま基部や先端部周辺に急角度調整を加えたものが多いことに加え、石器の出土層位から後期旧石器時代前半期の石刃石器群としては北陸最古級に位置づけられている。</p> <p>出土品には、少なくとも 10 数点以上の剥片が接合する資料が 3 個体あり、それらの分析の結果、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 20～30cm 大の円礫を用意する。</li> <li>2. 適当な平坦な打面を設定し、順次、表皮の除去を行いながら、縦長の石刃の剥離を進める。</li> <li>3. 石刃の剥離の進行に伴い、適宜、打面再生のための水平方向の剥離を行う。そのため、次第に剥離される石刃の長さは短くなる。</li> </ol> <p>また、打面は基本的に単設であり、作成された石刃の形状は先端部に向かうにつれて細くなるものが多い。</p> <p>といった石刃剥離技術が復元されている。</p> <p>さらに、こうした石刃剥離技術の復元研究に加え、本県の旧石器時代遺跡の年代的位置付けの研究が深化するきっかけとなるなど、その後の旧石器時代研究の基礎ともなった。</p>

直坂 I 遺跡出土品 (富山市舟新・舟倉)



1



2

ナイフ形石器 (3点)



3



4



5

彫刻刀形石器 (2点)



6

錐形石器 (1点)





7

接合資料 (1点)



# 富山県指定有形文化財（考古資料）指定調書

種 別	有形文化財（考古資料）
名 称	うわだいら あいいせきしゆつどひん なんとしかみはら ウワダイラ I 遺跡出土品（南砺市上原） —ナイフ形石器 <sup>がたせっき</sup> 9 点、局部磨製石斧 <sup>きよくがませいせきふ</sup> 1 点、石核 <sup>せっかく</sup> 4 点—
所有者	富山県
所在地	富山市茶屋町 206-3（富山県埋蔵文化財センター）
数 量	14 点
指定理由	①後期旧石器時代初期の日本海側に広くみられる小形のナイフ形石器を主体とする石器群の典型例として学術上重要 ②立野ヶ原型ナイフ形石器を主体とする石器群の代表資料 ③小形のナイフ型石器と石斧が一緒に出土した初めての事例として学史上重要
概要	<p>遺跡は、砺波平野の南側に位置し、山田川と小矢部川に挟まれた立野ヶ原台地上の標高約 220m にある。昭和 48 年に県が実施した発掘調査で、在地で産出する鉄石英、玉髄、メノウなどを多用した立野ヶ原型ナイフ形石器や局部磨製石斧、石核など約 1,500 点の石器が出土した。</p> <p>後期旧石器時代初期には、東北から山陰の日本海側において、小形のナイフ形石器を主体とする石器群が広く分布しており、大形の厚い剥片から小形の剥片を作出する技術が普遍的にみられる。本遺跡からも同様の技術により作成された小形のナイフ形石器が出土しており、その典型的な石器群である。</p> <p>立野ヶ原型ナイフ形石器は、小形のナイフ形石器の一類型であり、長さ 3 cm 前後で寸詰まりの小形剥片を使用し、末端部を中心に調整を加えた台形の形状をしたものである。また、素材となる小形剥片の製作にあたっては、原石を小まめに反転しながら、連続して剥片を作出し、結果としてサイコロ状の石核が残るのが特徴である。</p> <p>基本的な石器組成は、立野ヶ原型ナイフ形石器に加え、刃部など一部を研磨する局部磨製石斧が伴うものであるが、近隣のウワダイラ L 遺跡では彫刻刀形石器、西原 C 遺跡では彫刻刀形石器や錐形石器が伴う例もある。</p> <p>本遺跡で出土した局部磨製石斧は、小形のナイフ形石器に伴って石斧が出土した初めての事例として高い注目を集め、現在では、小形のナイフ形石器と併せて後期旧石器時代初期の普遍的な石器と認識されるようになった。</p>



ウワダイラ I 遺跡出土品 (南砺市上原)



1



2



3



4



5



6



7



8

9

ナイフ形石器 (9点)



10

局部磨製石斧 (1点)



11



12



13



14

石核 (4点)



# 富山県指定有形文化財（考古資料）指定調書

種 別	有形文化財（考古資料）
名 称	たつみいせきしゆつどひん なんとしたてのしん 立美遺跡出土品（南砺市立野新） — <sup>せんとうき</sup> 尖頭器 3 点、 <sup>そうき</sup> 搔器 3 点、 <sup>きつぎ</sup> 削器 2 点、 <sup>きりがたせつき</sup> 錐形石器 1 点—
所有者	富山県
所在地	富山市茶屋町 206-3（富山県埋蔵文化財センター）
数 量	9 点
指定理由	①旧石器時代の遺跡としては稀な黒曜石を主体的に使用した石器群の資料として学術上重要 ②黒曜石の化学分析により、石器石材の広域移動があったことを示す出土品として学術上重要 ③後期旧石器時代末期の尖頭器石器群の様相を示す代表資料
内 容	<p>遺跡は、砺波平野の南側に位置し、山田川と小矢部川に挟まれた立野ヶ原台地上の標高約 190m に位置する。昭和 49 年に県が実施した発掘調査で、4 箇所石器製作場跡から尖頭器や搔器、削器、錐形石器、彫刻刀形石器などの成品のほか剥片や細片（チップ）など約 1,350 点が出土した。</p> <p>県内の旧石器時代遺跡の多くが在地で産出する石材を多用するのに対し、本遺跡は県内では産出しない黒曜石を使用している点で特異な石器群である。</p> <p>使用された黒曜石は、蛍光 X 線分析により約 540km 離れた青森県深浦産であるとされ、後期旧石器時代終末期における全国でも屈指の石材の広域移動を示す事例として知られる。石器に礫面が残るものがあることや石核や一次剥片がなく、ある程度の大きさに加工された原石が運搬されてきたものと考えられている。</p> <p>尖頭器石器群は、後期旧石器時代終末期の石器群であり、先端部を尖らせ木の葉形に整形した狩猟具である尖頭器を主体とし、搔器、削器などバラエティに富むのが特徴であり、本遺跡は県内におけるその代表例である。</p>

立美遺跡出土品（南砺市立野新）



尖頭器（3点）



搔器（3点）



削器（2点）



臨時代理について（報告）

下記のとおり臨時代理したので、教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和34年富山県教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定に基づき報告します。

平成29年3月10日 提 出

富山県教育委員会  
教育長 渋谷 克 人

記

平成29年2月富山県議会定例会に付議する事案に対する意見に関する件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見聴取のあった平成29年2月富山県議会定例会に付議する事案については、同意するものとする。

以上、教育長に対する事務委任等に関する規則第3条の規定により臨時代理する。

平成29年3月6日

富山県教育委員会  
教育長 渋谷 克 人

平成28年度2月補正予算(案)総括表

教育委員会

1 一般会計

単位：千円／（ ）は現計予算

項		既定予算額	提案見込額	計	構成比	既定予算に対する伸び率(事業費ベース)
教育総務費	事業費	1,739,033	△ 57,995	1,681,038	2.7% (2.7%)	-3.3%
	給与費	825,221	-	825,221		
	計	2,564,254	△ 57,995	2,506,259		
小学校費	事業費	210,440	△ 12,000	198,440	34.8% (35.0%)	-5.7%
	給与費	32,626,564	△ 400,000	32,226,564		
	計	32,837,004	△ 412,000	32,425,004		
中学校費	事業費	182,686	△ 8,000	174,686	20.4% (20.6%)	-4.4%
	給与費	19,135,512	△ 300,000	18,835,512		
	計	19,318,198	△ 308,000	19,010,198		
高等学校費	事業費	5,884,014	△ 29,324	5,854,690	29.2% (28.9%)	-0.5%
	給与費	21,214,136	180,000	21,394,136		
	計	27,098,150	150,676	27,248,826		
特別支援学校費	事業費	1,478,775	△ 10,000	1,468,775	11.1% (10.9%)	-0.7%
	給与費	8,788,272	50,000	8,838,272		
	計	10,267,047	40,000	10,307,047		
社会教育費	事業費	644,849	△ 4,666	640,183	1.3% (1.3%)	-0.7%
	給与費	607,099	-	607,099		
	計	1,251,948	△ 4,666	1,247,282		
保健体育費	事業費	348,216	-	348,216	0.5% (0.5%)	0.0%
	給与費	152,945	-	152,945		
	計	501,161	0	501,161		
合計	事業費	10,488,013	△ 121,985	10,366,028	100.0% (100.0%)	-1.2%
	給与費	83,349,749	△ 470,000	82,879,749		
	計	93,837,762	△ 591,985	93,245,777		

2 特別会計

単位：千円

会計名	既定予算額	提案見込額	計	既定予算に対する伸び率
奨学資金特別会計	186,612	-	186,612	0.0%

3 繰越明許費補正

(1) 追加

単位：千円

款	項	事業名	金額
教育費	教育総務費	教育企画費	936

(2) 変更

単位：千円

款	項	補正前		補正後	
		事業名	金額	事業名	金額
教育費	高等学校費	学校修繕費(全日制)	101,892	学校修繕費(全日制)	180,923
		学校修繕費(定時制)	43,104	学校修繕費(定時制)	48,622
		高等学校建設事業費	94,842	高等学校建設事業費	216,623
	特別支援学校費	学校修繕費(特別支援)	45,848	学校修繕費(特別支援)	64,000
		特別支援学校建設事業費	93,746	特別支援学校建設事業費	168,341

平成28年度2月補正予算提案見込額一覧表

一般会計

教育委員会(単位:千円)

室課名	事業名	提案見込額	財源内訳			備考
			国支出金	その他	一般財源	
教育企画課	総 教育企画費		補 5,750		△ 5,750	財源更正
	総 教育企画事務管理費		委 56		△ 56	財源更正
	高 学校修繕費(全日制)		負 1,039	地 500	△ 1,539	財源更正
生涯学習・文化財室	社 放課後子ども教室推進事業費	△ 1,484	補 △ 743		△ 741	市町村補助金の実績減
	社 中学校放課後学習支援推進事業費	△ 1,124	補 △ 562		△ 562	市町村補助金の実績減
	社 文化財保存整備費	△ 2,058	補 △ 760	納 △ 380	△ 918	事業の実績減
教職員課	総 小学校専科教員等配置事業費	△ 9,000	補 △ 1,597		△ 7,403	報酬の実績減
	総 少人数教育推進事業費	△ 17,000	補 △ 773		△ 16,227	報酬の実績減
	総 教職員人事企画管理費	△ 30,000			△ 30,000	報酬及び旅費の実績減
	小 小学校教職員費	△ 12,000			△ 12,000	報酬及び旅費の実績減
	中 中学校教職員費	△ 8,000			△ 8,000	報酬の実績減
	高 高等学校教職員費	△ 5,000			△ 5,000	報酬の実績減
	特 特別支援学校教職員費	△ 10,000			△ 10,000	旅費の実績減
県立学校課	総 進路指導推進費	260	補 260			被災生徒公立専修学校授業料等減免事業にかかる経費の増
	総 国際理解教育推進事業費	△ 11,062	補 △ 3,545 委 △ 3,217		△ 4,300	国事業の実績減
	総 明日のとやま教育創造基金運用事業費	2,000		寄 2,000		寄附金受領に伴う基金の積立
	高 公立高等学校奨学のための給付金事業費	△ 24,324	負 △ 8,108		△ 16,216	国事業の実績減

室課名	事業名	提案 見込額	財源内訳			備 考
			国支出金	その他	一般財源	
小中学校課	総 教育指導研究推 進費	△ 4,000	補 △ 4,000			国交付金決定による減
保健体育課	総 公立学校共済組 合富山支部負担 金	10,807			10,807	共済本部・支部事務費 の増
事業費 計		△ 121,985	△ 16,200	2,120	△ 107,905	
給与費	小学校費	△ 400,000	負 29,099		△ 429,099	退職手当執行見込及び 共済費執行見込の減
	中学校費	△ 300,000	負 63,424 委 △ 1,929		△ 361,495	
	高等学校費	180,000	負 △ 163	授 △ 33,198 入 △ 279	213,640	
	特別支援学校費	50,000	負 △ 23,458		73,458	
給与費 計		△ 470,000	66,973	△ 33,477	△ 503,496	
教育委員会計		△ 591,985	50,773	△ 31,357	△ 611,401	

注)補:補助 負:負担 委:委託 地:地方債 納:納付金 寄:寄附金 授:授業料 入:入学科

平成29年度富山県立学校入学者選抜の志願状況及び受検状況等について

平成29年3月10日  
県立学校課

みだしの件について、以下のとおり報告致します。

1 県立高等学校全日制の課程入学者選抜

学校・学科数		38校86学科		
募集定員		7,182名		
推薦入学者選抜	合格内定者数	1,140名		
一般入学者選抜	募集人数	6,042名		
	志願者数	6,959名 (志願倍率1.15倍)		
	第1日 3/8(水)	受検者数	6,926名 (受検倍率1.15倍)	
		欠席者数	33名	
	第2日 3/9(木)	受検者数	6,926名	
欠席者数		33名		

[合格者発表] 推薦入学合格内定者と一般入学合格者を併せて、3月16日(木)午後0時30分に各志願先高等学校で発表

2 県立高等学校定時制の課程(単位制)入学者選抜

学校・学科数		5校12学科	
募集定員		約840名	
前期第1次選抜	3/8(水) 5校で検査 3/9(木) 3校で面接	志願者数	337名 (参考志願倍率0.40倍)
		受検者数	331名 (参考受検倍率0.39倍)
		欠席者数	6名

[合格者発表] 3月16日(木)午後0時30分に、各志願先高等学校で発表

3 県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者選抜

(1) 高等部A日程

第1次選抜		第2次選抜	
学校数	5校	学校数	3校
募集定員	72名	募集定員	16名
志願者数	65名	志願者数	5名
受検者数	63名	受検者数	5名
合格者数	56名		

(2) 高等部B日程・幼稚部

		高等部	高等部(訪問教育)	幼稚部
学校数		10校		3校
募集定員		約208名	若干名	若干名
第1次選抜 3月8日(水)	志願者数	125名	1名	3名
	受検者数	125名	1名	3名

[合格者発表] 3月16日(木)午後0時30分に、各志願先特別支援学校で発表



上市高等学校における平成29年度県立高等学校全日制の課程  
入学者選抜学力検査英語聞き取りテストの中止について

平成29年3月10日

県立学校課

- 1 3月9日（木）に実施した平成29年度県立高等学校全日制の課程入学者選抜学力検査英語聞き取りテストにおいて、上市高校で放送トラブルがあり、同校では英語聞き取りテストを中止しました。
- 2 同校の全検査室において、聞き取りテスト開始直後から放送音がかすれており、よく聞き取れない状況であったため、マニュアルに従い同校では英語聞き取りテストを中止しました。受検生に目立った混乱は見られませんでした。
- 3 同校では、富山県立高等学校入学者選抜実施要領の規定に基づき、英語聞き取りテスト部分を除いて40点に換算することになります。
- 4 放送音がかすれた原因については、現在調査中です。
- 5 県教育委員会としては、受検生の皆さんにお詫びするとともに、今後このような事態が生じないように原因を調査し、適切な対策を講じてまいりたいと考えております。

参 考

## 今後の教育委員会等の日程について

- 平成 29 年 3 月 21 日 (火) 15:00 予定  
教育委員会 (教育委員会室)